



図書館だより 6月

あおうめ おち ひろ やかな
青梅の落て拾はぬあき家哉

正岡子規

梅雨の季節、しとしとと降る雨の音を聞きながら、ゆっくり本を読む時間はいかがでしょうか。窓に打ちつける雨や、少しひんやりとした空気の中でページをめくるひとときは、いつもとは違った落ち着きを感じさせてくれます。本の世界に入り込むことで、外の天気を忘れてしまうような時間になるかもしれません。図書館は、そんな時間を応援しています。自習の合間や放課後のひとときに、ぜひ気軽に足を運んでください。新しい一冊との出会いが、きっとあなたを待っています。



読書冊数調査(4・5月)

1・2年生を対象に読書冊数調査を実施しました。
 図書委員会では「年間読書冊数 1 人あたり10冊以上」を目標にしています。
 結果は下記のとおりです。

1 年 1.5 冊 2 年 1.1 冊 全校 1.3 冊

読書冊数は昨年度より減少しましたが、毎日の朝読書の時間は、落ち着いて一日をスタートさせる貴重な機会です。忙しい日々の中でも、この時間を大切にしながら、自分のペースで読書を続けていきましょう。図書館もその習慣づくりを応援します。

図書委員会からのお願い 返却は返却ボックスへ！

返却期限を過ぎている本を借りている人は、早めの返却をお願いします。次にその本を読みたい人が待っている場合もあります。本はみんなで利用する大切なものですので、ご協力をお願いします。
 本を返却する時は、返却ボックスに入れてください。自分で書棚に戻さないようお願いします。



奇贈図書 集英社文庫 100 冊をいただきました！

6 月 2 日(火)、本校で「第 61 回 高校生のための 文化講演会」が開催され、講師としてお迎えしたノンフィクション作家の星野博美先生が「馬と旅に出かけよう」という演目でお話をされました。その際、一ツ橋文芸教育振興会から集英社文庫 100 冊と星野先生の直筆サイン入り新書『野馬追で会いましょう』をご寄贈いただきました。

これらの図書は順次貸出を行う予定ですので、ぜひ楽しみにしてください。

『野馬追で会いましょう』 星野博美:著 (集英社新書)

福島県の伝統行事「野馬追」を通して、馬と人との関わりや、震災の人々の暮らしを描いた作品です。祭りを守り続ける人々の思いや、今も続く現実に触れることで、「文化」や「日常」の大切さを考えさせられます。

今後購入予定の星野先生の書籍を紹介します！



『馬の惑星』 星野博美:著 (集英社)

世界のさまざまな国を旅しながら、馬とともに生きる人々を訪ねた記録です。広い大地を走る馬のように、自由にスケールの大きな世界が広がります。旅が好きな人におすすめの一冊です。

『世界は五反田から始まった』 星野博美:著 (ゲンロン叢書)

身近な町・五反田を出発点に、戦争の記憶をたどるノンフィクション。祖父の手記をもとに、昔の出来事が今の私たちにつながっていることに気づかされます。「歴史って遠い話じゃない」と感じられる作品です。第 49 回大佛次郎賞受賞

『転がる香港に舌は生えない』 星野博美:著 (文春文庫)

香港での生活を通して、急速に変わる社会や人々の暮らしを描いたエッセイ。異文化に触れながら、自分の生き方や社会について考えるきっかけになります。第 32 回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作